

内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 22 年 3 月東北分 (新潟を含む東北7県) について

1. 今月のDI※

(1) 現状判断 (方向性) DI

3か月前との比較である現状判断DIは、46.2 (前月比+6.7ポイント) と、4か月連続して前月を上回るものの、横ばいを示す50を平成19年4月以降36か月連続で下回った。

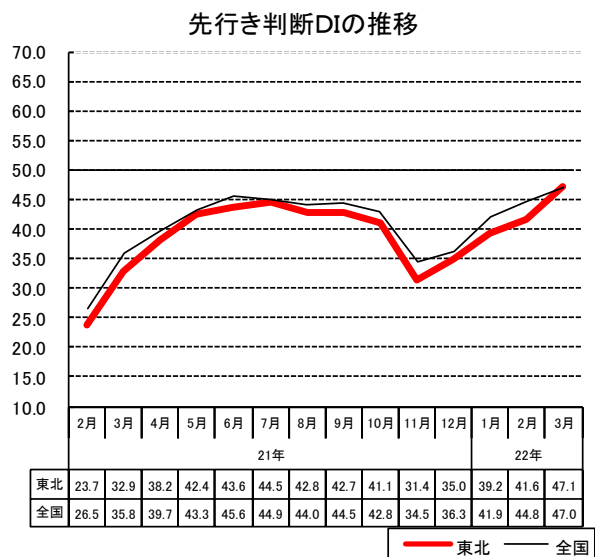
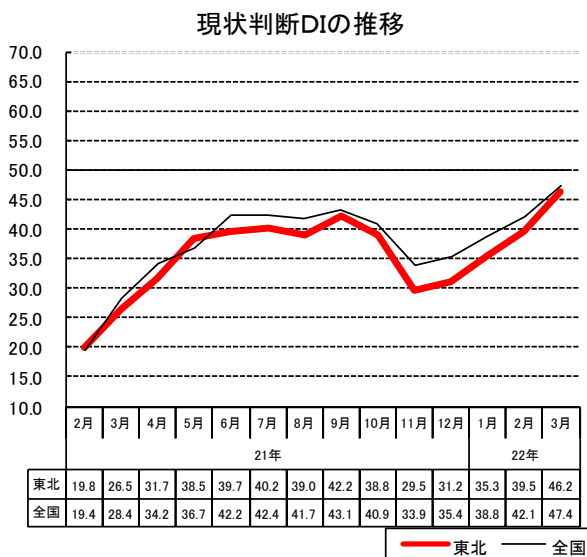
	21年												22年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北現状	19.8	26.5	31.7	38.5	39.7	40.2	39.0	42.2	38.8	29.5	31.2	35.3	39.5	46.2	
家計動向関連	21.9	29.3	33.8	40.3	39.6	39.1	36.9	42.0	37.1	27.4	29.5	34.3	38.4	45.4	
企業動向関連	19.5	26.3	32.1	38.4	42.1	47.0	46.3	40.9	43.1	35.3	35.0	40.6	43.9	49.4	
雇用関連(参考)	8.0	9.1	15.8	26.3	35.7	34.5	38.1	46.3	41.7	32.1	35.7	32.1	37.5	45.5	

(2) 先行き判断DI

3か月先を予想する先行き判断DIは、47.1 (前月比+5.5ポイント) と、4か月連続して前月を上回るものの、横ばいを示す50を、平成19年5月以降35か月連続で下回った。

	21年												22年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北先行き	23.7	32.9	38.2	42.4	43.6	44.5	42.8	42.7	41.1	31.4	35.0	39.2	41.6	47.1	
家計動向関連	25.7	35.5	40.6	43.1	42.4	43.1	42.3	42.5	40.4	30.9	33.6	38.3	40.3	46.5	
企業動向関連	20.1	28.8	34.0	42.7	47.0	47.0	45.0	42.1	41.9	32.1	36.9	45.0	45.1	48.1	
雇用関連(参考)	18.2	23.9	30.3	37.5	44.0	48.8	41.7	45.0	44.0	33.3	40.5	33.3	43.8	48.9	

※DI (Diffusion Index) について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。



景気ウォッチャーの判断によれば、東北地域の景気は、
依然として厳しいものの、一部に持ち直しの動きがみられる、とのことである。

2. 調査の概要

調査期間 平成 22 年 3 月 25 日～平成 22 年 3 月 31 日

回答者数 197/210 名、回答率 93.8%（全国 1,853/2,050 名、90.4%）

3. 特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（家電量販店）…エコポイント対象商品の駆け込み需要が続いて、メーカーにも在庫が無いため、薄型テレビでは4月末まで納品待ちとなっている。

○「やや良くなっている」

（百貨店）…得意客中心ではあるが、前年の売上に対して2けたの伸びを見せるブランドがあるなど、買い控えの反動で春物への消費マインドが高まっている。特にフォーマル関連の売上が好調で、晴れの日の装いを新調する消費者が増えている。

（乗用車販売店）…減税や補助金の効果で新車受注は好調である。補助金の延長が決まり、駆け込み需要は無いものの、中旬以降の受注も例年に比べて堅調に推移している。

（その他住宅[リフォーム]）…3か月前に比べて新規の問い合わせが増えており、需要が高まっている。

（電気機械器具製造業）…受注全体の落ち込みは弱まっており、半導体装置の受注が好転している。

（人材派遣会社）…製造業の求人数が3か月前に比べて活性化している。

○「変わらない」

（商店街）…中旬以降は例年にない厳しい寒さと積雪に見まわれ、新入学、就職商戦は低迷している。ポイントセール期間中は集客に効果があるものの、他の日は買い控えが目立つ。

（カメラ販売店）…新製品の低価格品は好調なもの、高額品の動きが鈍く、売上は前年並みで推移している。

（コンビニ）…来客数、客単価、売上共に前年割れが続いている。弁当やパスタ等の販売量に回復傾向がみられるものの、依然として100円を中心とする低価格商品への支持が強く、必要な商品以外は買い控えが続いている。

（衣料品専門店）…雪が残り気温が低いため、来客数が低迷している。まだ冬物を探しにくる消費者があり、例年に比べて、春物の動きが鈍い。

（ガソリンスタンド）…天候の影響でタイヤなどの季節商材の動きが鈍く、また重量税の変更に合わせて車検の入庫を伸ばす客がいる。不要不急の買物を控える傾向が続いているため、燃料以外の需要は冷え込んでいる。

（一般レストラン）…日ごとに店内の繁閑の差が大きく、販売量は3か月前と変わらない。

（観光型旅館）…旅行代理店の閉鎖や人員削減の影響で動きが悪く、宿泊予約が低迷している。

(都市型ホテル) …売上全体は低迷しているものの、節目を重視する地域性があるため、歓送迎会などで宴会部門の売上は前年並みで推移している。

(タクシー運転手) …最終電車や最終バスが出ると繁華街の人通りが減り、夜間の乗客は相変わらず少ない。

(通信会社) …親子の来店が増える時期だが、携帯端末は低価格機種に人気が集中しており、景気の悪さが続いている。

(美容室) …来客数の前年割れが続いているものの、極端な悪化の懸念は弱まっている。

(一般機械器具製造業) …自動車部品の受注はやや回復傾向にあるが、円高傾向が続いているため、輸出環境が改善していない。

(公認会計士) …得意先の決算状況や月次データを見る限り、利益が改善している企業は少ない。売上が前年を上回る企業でも、利益が減少している得意先が多い。

(その他企業[企画業]) …住宅版エコポイント制度が開始されて、住宅会社は受注増加を図っており、ユーザーからは良い反応も示されている。

(職業安定所) …前年に比べて求人数は増えているものの、採用になる雇用形態は非正規雇用が多い。

○「やや悪くなっている」

(医薬品販売店) …客単価、来客数共に落ち込んでいる。馴染み客でも、必要最低限の買物で済ませ、生活に余裕は感じられない。

(スーパー) …野菜の高騰を除くと、加工食品などの平均単価は前年割れが続いており、一段と消費が縮小している。

(食品専門店) …例年に比べて、新年度を迎えるための活発な購買意欲がみられない。

(遊園地) …イベントを開催するものの、厳しい天候や地震が影響して、来客数が前年を下回っている。

(建設業) …限られた物件数に競争は厳しく、また発注者のコスト意識が強いため、受注量、受注価格共に低下している。

○「悪くなっている」

(茶販売店) …津波の被害で、養殖しているカキやワカメが壊滅状態である。また、観光客の低迷もあり、休日の市街地は人通りが見られない。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(都市型ホテル) …客室を含めて全面リニューアルし、宿泊部門の営業が再開するため、売上は増加する。

○「やや良くなる」

(百貨店) …好調が続く食品部門などに加えて、化粧品などの婦人雑貨や婦人服で売上の伸びがみられる。

(乗用車販売店) …4月からの重量税減額は、新車のみならず車検の費用軽減につながり、業界全体に効果が期待できる。節約志向が強まる一方で、少々高額でもディーラーでの整備を希望する声が多くなっている。

(旅行代理店) …予約の受付状況では、前年を上回る月が出始めている。消費動向に敏感なファミリー層やヤング層の動きに注目したい。

(電気機械器具製造業) …為替が持ちこたえているため、今後は輸出分野の環境改善が期待できる。

(職業安定所) …求人数の増加や各企業の新規採用状況から判断すると、前年に比べて明るい見通しがある。

○「変わらない」

(スーパー) …子ども手当やエコポイントの延長は景気を下支えするかもしれないが、有効求人倍率の低迷、失業保険の給付期限切れ、社会保険料や公共料金の負担増などの先行き不安があるため、厳しい状況は変わらない。

(衣料品専門店) …買い足しや買換えなどで購入客は増えているが、値ごろな商品でも必要のない物は購入しない傾向は当分変わらない。

(ガソリンスタンド) …タイヤ需要の回復には期待できるものの、燃料の仕入れ価格が上昇するため、需要の減少が懸念される。

(高級レストラン) …景気回復の材料はみあたらないが、更なる悪化や二番底の懸念は感じられない。

(一般レストラン) …来店客から節約ムードが消えており、今後の消費回復に期待できる。

(都市型ホテル) …デフレの傾向は強まっており、消費者ニーズに合う低価格商品の提供や仕入価格の引下げ交渉等、生き残りをかけた厳しい企業経営が続く。

(遊園地) …子ども手当の支給には多少期待するものの、地元テレビ局による大型イベントの影響が懸念され、厳しい見通しは変わらない

(自動車整備業) …新年度の予算成立や子ども手当の支給に期待感はあるものの、先行きは不透明である。

(一般機械器具製造業) …補助金終了による反動減の懸念はあるものの、自動車部品はしばらく回復傾向が続く。

(職業安定所) …新規求人数が 29 か月ぶりに増加に転じたものの、前年をわずかに上回る水準であり、厳しい状況は変わらない。

○「やや悪くなる」

(家電量販店) …エコポイントによる駆け込み需要の反動減が懸念される。

(観光型旅館) …ゴールデンウィークを除くと平日や他の休前日などに先行予約が入らない。

(電気機械器具製造業) …受注量が回復する一方で利益率が悪化しており、下請の中小企業は厳しい経営が続く。

(職業安定所) …新規求人数に回復傾向はあるものの、百貨店の閉鎖に伴う大量離職者の発生が予想され、先行きは厳しい状況である。

○「悪くなる」

(茶販売店) …長引く不況に不漁や天災が重なり、先行き不安で落ち込んだ消費マインドは当分回復しない。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上